

アルゴリズム入門 共通問題 (2020 年度 A セメスター試験)

[試験日時: 2020 年 1 月 26 日 第 4 限 (60 分), 答案用紙: 1 部, 計算用紙: 1 枚, 持ち込み一切不可]

内容に関する質問は受け付けない. 問題の記述が曖昧な場合は, 適切な仮定をおいて回答し, どのような仮定をおいたのか明記せよ.

なお, `ita.array.make1d(n)` は長さ n で全要素が 0 の配列を, `ita.array.make2d(m, n)` は m 行 n 列で全要素が 0 の 2 次元配列を, それぞれ返す関数である. 問題中のいずれのプログラムについても, `ita` ライブラリは既に読み込まれているものとする.

問題 1

カントール集合は, 線分の中央の $1/3$ を取り除き 2 つの線分を得ることを繰り返して得られる. 「中央を取り除く」操作を n 段階繰り返して得られる集合を生成する関数 `cantor(n)` について考える. 図 1 の上は `cantor(2)` の, 下は `cantor(3)` の実行結果を図示したもので, 白い部分が残った線分に対応している. 以下のプログラムでは, 白い線分から中央の $1/3$ を取り除くのではなく, 最初に黒い線分を用意し, 取り除かれぬ可能性のある部分はどこかを調べてゆき, 最後に残った部分を 1 にして白く塗っている. 以上を参考に以下の問に答えよ.

```
def cantor(n):
    a = ita.array.make1d(3 ** n)
    # 黒い線分を用意
    subcantor(a, n, 0)
    return a

def subcantor(a, level, x):
    if level == 0:
        a[x] = 1 # 残った部分を白く塗る
    else:
        subcantor(a, level - 1, x)
        subcantor(a, level - 1, x + 2 * 3 ** (level - 1))
```

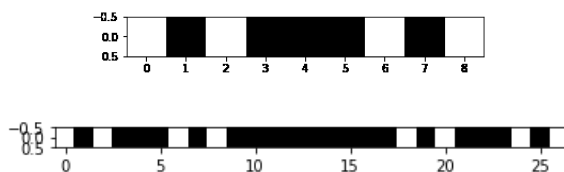


図 1: カントール集合

(1) シェルピンスキーカーペットは, 正方形を 3×3 の 9 つの正方形に分解し中央を取り除くことを繰り返して得られる. 以下の関数 `carpet(n)` はこの操作を n 段階繰り返した結果を生成する. 図 2 は `carpet(3)` の実行結果の図示である. 空欄 **A** ~ **C** を埋めてプログラムを完成させよ.

```
def carpet(n):
    a = ita.array.make2d(3 ** n, 3 ** n)
    # 真っ黒な正方形を用意
    subcarpet(a, n, 0, 0)
    return a

def subcarpet(a, level, y, x):
    if level == 0:
        a[y][x] = 1 # 残った部分を白く塗る
    else:
        subcarpet(a, level - 1, y, x)
        subcarpet(a, level - 1, y, A)
        subcarpet(a, level - 1, y, x + 2 * 3 ** (level - 1))
        subcarpet(a, level - 1, y + 1 * 3 ** (level - 1), x)
        subcarpet(a, level - 1, y + 1 * 3 ** (level - 1), B)
        subcarpet(a, level - 1, y + 2 * 3 ** (level - 1), C)
        subcarpet(a, level - 1, y + 2 * 3 ** (level - 1), x + 1 * 3 ** (level - 1))
        subcarpet(a, level - 1, y + 2 * 3 ** (level - 1), x + 2 * 3 ** (level - 1))
```

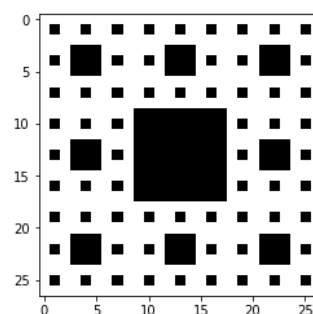


図 2: シェルピンスキーカーペット

(2) 以下の関数 `pascal(n)` はパスカル三角形を生成する。図 3 は `pascal(3)` の実行結果の図示である。空欄 `D` ~ `H` を埋めてプログラムを完成させよ。

```
def pascal(n):
    a = ita.array.make2d(3 ** n, 3 ** n)
    # 真っ黒な正方形を用意
    subpascal(a, n, 0, 0)
    return a
```

```
def subpascal(a, level, y, x):
    if level == 0:
        a[y][x] = 1 # 白く塗る
    else:
```

```
        subpascal(a, level - 1, y, x)
        subpascal(a, level - 1, y + 1 * 3 ** (level - 1), D)
        subpascal(a, level - 1, y + 1 * 3 ** (level - 1), E)
        subpascal(a, level - 1, y + 2 * 3 ** (level - 1), F)
        subpascal(a, level - 1, y + 2 * 3 ** (level - 1), G)
        subpascal(a, level - 1, y + 2 * 3 ** (level - 1), H)
```

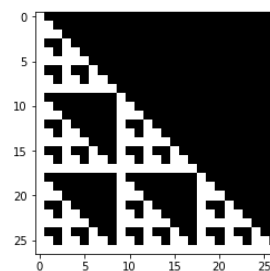


図 3: パスカル三角形

(3) 以下の関数 `gasket(n)` はシェルピンスキーガasketを生成する。図 4 は `gasket(5)` の実行結果の図示である。空欄 `I`・`J` を埋めてプログラムを完成させよ。

```
def gasket(n):
    a = ita.array.make2d(2 ** n, 2 ** n)
    # 真っ黒な正方形を用意
    subgasket(a, n, 0, 0)
    return a
```

```
def subgasket(a, level, y, x):
    if level == 0:
        a[y][x] = 1 # 白く塗る
    else:
```

```
        subgasket(a, level - 1, y, x)
        subgasket(a, level - 1, y + 1 * 2 ** (level - 1), I)
        subgasket(a, level - 1, y + 1 * 2 ** (level - 1), J)
```

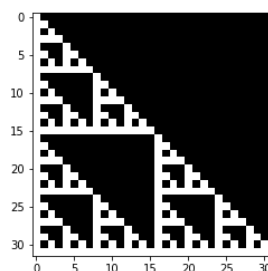


図 4: シェルピンスキーガasket

問題 2

xy 平面上での放物運動のシミュレーションに関連して、以下の問に答えよ。なお、重力加速度は $g = 9.8$ とし、 y 座標が減少する方向に働くものとする。

(1) 以下の関数 `parabolic_m_step(y, x, vel_y, vel_x, stride)` は、物体が位置 (x, y) から速度 (vel_x, vel_y) で運動するとき、 $stride$ 秒後の位置と速度を、 $stride$ が十分短い時間だと仮定して求め、配列 $[y, x, vel_y, vel_x]$ として返す。さらに、関数 `parabolic_motion_steps(y, x, vel_y, vel_x, stride, steps)` は、関数 `parabolic_m_step` を $steps$ 回適用した後の $[y, x, vel_y, vel_x]$ を返す。空欄 `A` ~ `F` を埋めプログラムを完成させよ。

```

def parabolic_m_step(y, x, vel_y, vel_x, stride):
    g = 9.8
    x = x + vel_x * stride
    y = y + vel_y * stride
    vel_y = vel_y - 
    return [y, x, vel_y, vel_x]

def parabolic_motion_steps(y, x, vel_y, vel_x, stride, steps):
    cur = 
    for i in range(0, steps):
        cur = parabolic_m_step(, , , , stride)
    return cur

```

(2) `parabolic_motion_steps(10, 10, 2, -1, 0.1 ** 17, 100000)` を実行したところ, 結果は `[10.0, 10.0, 2.0, -1]` となり, `vel_x` だけでなく `x` や `y` や `vel_y` も変化しなかった. この原因として考えられることを 2 行程度で述べよ.

(3) 関数 `parabolic_motion_steps` によるシミュレーション結果は, `stride` が十分短いと仮定した差分化に基づいているため, 正確ではない. 計算結果の y 座標の誤差を `stride` と `steps` の式として表わせ. 導出過程の概略も示すこと. 丸め誤差の影響は無視してよい. なお, $T = \text{stride} \times \text{steps}$ 秒後の正確な y 座標は $y + \text{vel}_y \times T - \frac{1}{2}gT^2$ である.

(4) このシミュレーションのプログラムを行列計算を用いることで改善したい. その準備としてまず, m 行 n 列の行列 (2 次元配列) `matrix` と n 次元ベクトル (配列) `vector` の積を計算する関数 `mMv(matrix, vector)` を作成した. この関数は以下を満たす長さ m の配列 `result` を返す.

$$\text{result}[i] = \sum_{j=0}^{n-1} \text{matrix}[i][j] \times \text{vector}[j]$$

空欄 ~ を埋めプログラムを完成させよ.

```

def mMv(matrix, vector):
    result = ita.array.make1d(len(matrix))
    for i in :
        for j in :
            result[i] = 
    return result

```

(5) 関数 `mMv` を用いて関数 `parabolic_motion_steps_matrix` を作成した. この関数の計算結果が関数 `parabolic_motion_steps` と同じとなるよう, 空欄 ~ を埋めよ.

```

def parabolic_motion_steps_matrix(y, x, vel_y, vel_x, stride, steps):
    g = 9.8
    vector = 
    matrix = [[1, 0, stride, 0, 0],
              ,
              [0, 0, 1, 0, -stride],
              [0, 0, 0, 1, 0],
              ,
              ]
    for i in range(0, steps):
        vector = mMv(matrix, vector)
    return [vector[0], vector[1], vector[2], vector[3]]

```

(6) 行列 A に対し, A のべき乗を行列積を用いて $A^1 = A$ および $A^{n+1} = A^n \cdot A$ ($n \geq 1$) と定義する. このとき, $A^{2n} = (A^2)^n$ および $A^{2n+1} = ((A^2)^n) \cdot A$ という関係がなり立つ. 以下の関数 `mPn(matrix, n)` はこの関係を使い行列 `matrix` の n 乗 ($n \geq 1$) を計算する. 空欄 `M` ~ `O` を埋めプログラムを完成させよ. 必要があれば, 2 つの 2 次元配列を入力とし, 両者の行列積に対応する 2 次元配列を返す関数 `mMm` を用いてよい.

```
def mPn(matrix, n):
    if n == 1:
        return matrix
    m = mPn(M, N)
    if n % 2 == 0:
        return m
    else:
        return O
```

(7) 以下の関数 `parabolic_motion_steps_matrix2` は, 関数 `parabolic_motion_steps_matrix` と同じ結果を関数 `mPn` を用いて求める. 空欄 `J` ~ `L` には関数 `parabolic_motion_steps_matrix` のものと同じものが入る. 関数 `parabolic_motion_steps_matrix2` の `steps` に関する計算量のオーダーを示せ. 導出過程の概略も示すこと.

```
def parabolic_motion_steps_matrix2(y, x, vel_y, vel_x, stride, steps):
    g = 9.8
    vector = J
    matrix = [[1, 0, stride, 0, 0],
              K,
              [0, 0, 1, 0, -stride],
              [0, 0, 0, 1, 0],
              L]
    matrix = mPn(matrix, steps)
    vector = mMv(matrix, vector)
    return [vector[0], vector[1], vector[2], vector[3]]
```